

ミルタザピン錠15mg・30mg「VTRS」 を服用される患者さんをご家族の方へ

このおくすりは1日1回就寝前服用で、うつ病・うつ状態の治療に用いられます。服用する際には、以下のことにご注意ください。

おくすりの服用について

- このおくすりは、体調がよくなったと自己判断して服用を中止したり、服用量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いらいらする、あせるなどの症状があらわれることがあります。指示どおりに服用し続けることが重要です。
- 医師または薬剤師から指示された用法・用量を守ってください。

服用中に注意する症状について

- うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。このおくすりを服用している間、特に服用しはじめや服用量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなるがあるので、このような症状があらわれた場合には、医師にご相談ください。
- 不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、医師にご相談ください。

このおくすりとの関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

おくすりを服用していつもとちがう症状があらわれた場合には、
すぐに医師または薬剤師、看護師にご相談ください。

18歳未満の患者さんの服用に関する注意点

- 7～17歳の双うつ病性障害のある人がこのおクスリを服用した場合、有効性が確認できなかったという報告があります。18歳未満の双うつ病性障害のある人は、医師と十分にご相談ください。

自動車の運転などに関する注意点

- 眠気、めまいなどの自動車の運転などに影響を与える症状があらわれることがあります。自動車の運転などの危険をともなう機械の操作は行わないようにしてください。

ご家族の方のサポート

ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともある病気の症状が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師にご連絡ください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。



VIATRIS

ヴィアトリス製薬株式会社



読みやすさを追求した書体

2022年12月作成 NBZ57M070A